

# アクセルを踏むな、ブレーキを緩めよう。

予防処置

## リスクマネジメントに予防処置は欠かせない

寡聞にして日本でよく使われている「水平展開」という言葉が英語にあるのかどうか知らないが、審査員の中には「水平展開」は予防処置ではなく是正処置であるという「指摘」をする人もいる。

部門は違っても同じ組織(システム)の中で顕在した不適合であるから厳密には「是正処置」であることは原理的には正しいが感覚的には予防処置と考えてもおかしくはない。組織は「予防処置の必要性の評価」という規格要求事項を重く見てほしい。予防処置の必要性の評価するためには情報の入手、監視測定による傾向分析が欠かせない。

不二家事件は悪い方へ水平展開してしまったようであるが、内部統制(正確な情報の開示と伝達)不足であっただろう。この事件はISO9001やISO14001の審査のあり方が大きく問われたといえる。もちろんマスコミの記事の中には誤った情報があるが、例えば読売新聞の記事(01.13)では「経産省は、財団法人「日本適合性認定協会」を通じて、不二家の認証取得を担当した民間の認証機関に臨時審査を求めた。これを受け、認証機関が事実関係の調査に乗り出した。」となっているが経済産業省のホームページの甘利経済産業大臣の記者会見では

Q:不二家の件で質問なのですが、組織ぐるみの不正などが明らかになっていますが、これとISOと深くかかわってくると思うのですが、その認可に関する影響について教えてください。

A:ISOの審査登録制度は民間の制度ですから、経済産業省がISOの認定をするわけではありません。ただ、その機関を所管しているのは経済産業省になります。そこできちんとやっているのかどうか、日本適合性認定協会に対して注意喚起をして情報提供の依頼をしたということです。ISOの信頼性を担保していくために、その認定機関がきちんと厳正な職務を果たしてもらえるように注意喚起をしたいということです。(01.15)

新日本認証サービス株式会社(NJC)はアイルランド認定協会(INAB)から認定を受けているCertification Europe Ltd.(CEL)との提携により審査をしています。

Q:不二家のISOについて伺いたいのですけれども、期限切れの原材料を使っていたということで、そういった企業がISO認証を受けるというのをどのようにお考えか、教えてください。

A:それは非常に問題があると思います。ただ、ISOの審査登録制度は基本的には民間の制度です。従って、一義的には民間の認証機関がどういう判断をするかということだと思います。ただ、社会的な影響が非常に大きいということで、私どもの方で11日の木曜日に財団法人日本適合性認定協会、JABと称しておりますけれども、ここに対して注意喚起と情報提供の依頼をしました。JABの方では、翌日、12日に実際に不二家について認証をした2つの機関...に対して、JABから調査依頼をしたと聞いています。この後、この2つの認証機関がどういうアクションをとるかということですが、それは認証機関の判断に委ねられる問題であると思っています。こういう民間の認証登録制度がこのようなケースで有効に機能することを私どもとしては期待しており、ISOの審査登録制度の適切な運営という観点から、今後とも必要な対応をしていきたいと考えています。(01.16)

となっている。(注:認定とか認証の用語については誤解もあるようだ)

審査制度の「守秘義務」「システム要求事項のみの審査」の壁で他の審査機関が予防処置を取るための情報が少ない(ISO7021:2006 4.1.2では認証の全般的な目的が書かれており、より情報開示が求められるのではないか)、これは認定停止などを受けた審査機関がどのような理由であったのか(JABR-の何項かは分かるが具体的に分からない)を含め予防処置のための情報は皆無といえる。

維持審査で同じような文書審査を繰り返さないでISO17021:2006 4.4の責任を全うしなければならない

そう、ブレーキを緩めると車(システム)は自然に前に進みます。



(榎崎建志)



## 新日本認証サービス株式会社

〒541-0053 大阪市中央区本町1-5-7 西村ビル704

電話 06-4964-6881 FAX 06-4964-6882 <http://www.njc-jp.com>

当社へのご連絡・この広告へのご意見は [njc-cel@nifty.com](mailto:njc-cel@nifty.com) へどうぞ

## Certification Europe Ltd.

157 Thomas Street, Dublin 8, Ireland